

岸和田市立福祉総合センター

周辺環境に寄り添いながら、活力あふれる“居場所”をつくる

建物概要

- 所在地：大阪府岸和田市野田町1丁目
- 設計者：株式会社梓設計関西支社

- 建築主：岸和田市
- 用途：児童福祉施設等
(老人福祉施設、児童発達支援センター)

- 敷地面積：17,414.02 m²
- 建築面積：3,012.07 m²
- 延べ面積：7,453.17 m²
- 構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
- 階数：地上4階/地下1階
- CASBEE 評価：A ランク/BEE 値 1.6
- 重点評価：CO₂削減 3.1/省エネ対策 3.6
みどり・ヒートアイランド対策 3.5



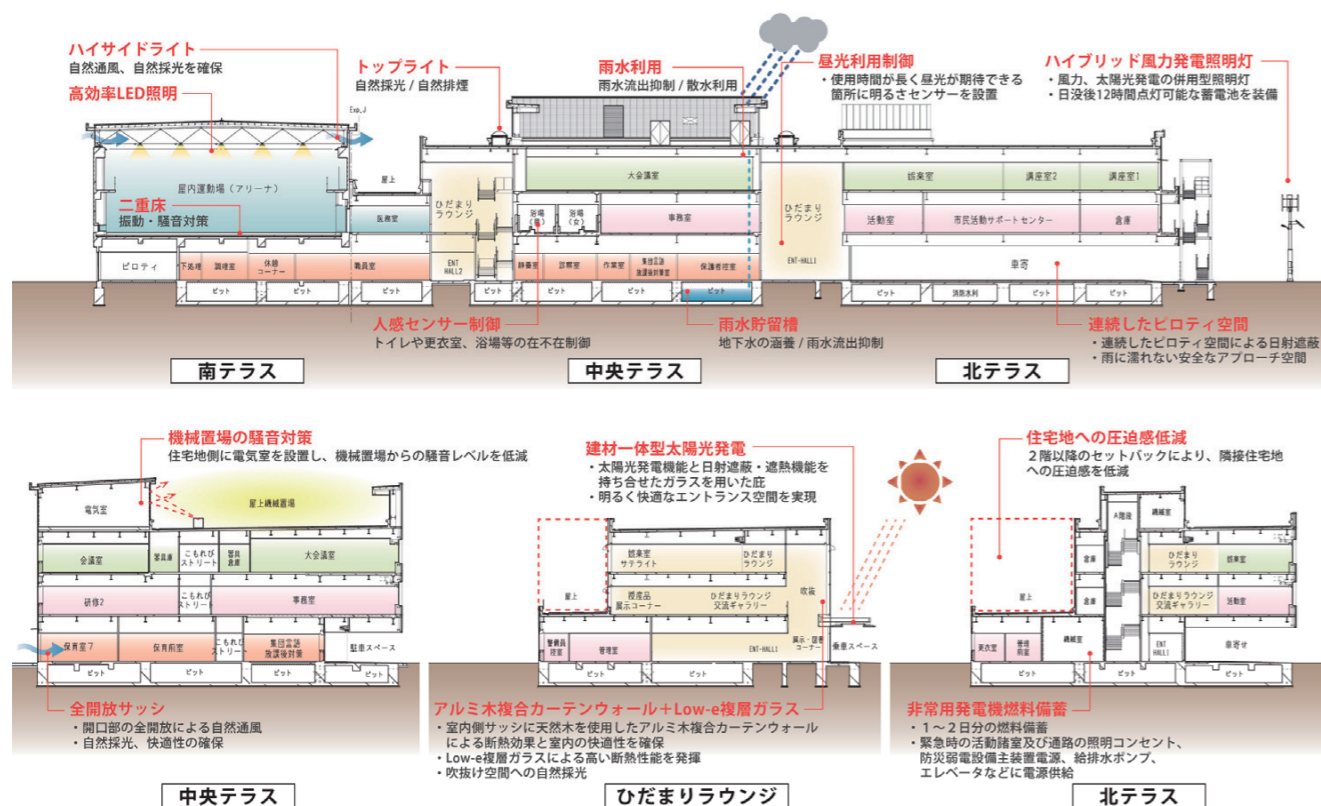
【立地、周辺環境】

敷地は南海本線岸和田駅前の中心市街地であり、南北が市道に面した利便性の高い場所である。また、景観計画区域内に位置し、東西は閑静な住宅地に隣接するため、駅前景観への調和と周辺環境への配慮が求められる立地である。

【総合的なコンセプト】

本施設は市域に分散する福祉機能（高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉）を統合し、新たなまちづくりの核となる地域福祉拠点である。各機能をイメージした3つのボリュームは、分節化により周辺景観への調和を図りながら、水平動線の「こもれびストリート」や、吹抜け空間の「ひだまりラウンジ」によりつながり、一体感を生み出している。内部空間は高い断熱性を確保しながら、居室やひだまりラウンジからの自然光をフロアの軸となるこもれびストリートまで引き込み、また、接地性の高い居室では全面開放サッシにより自然風を取り込むなど、自然環境を最大限に活かした活力のあふれる「居場所」となっている。

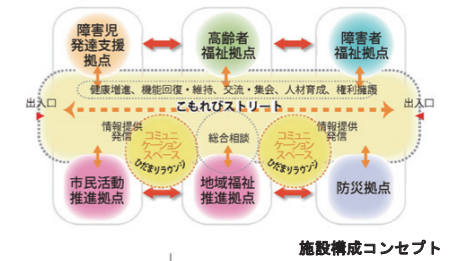
建物断面構成図



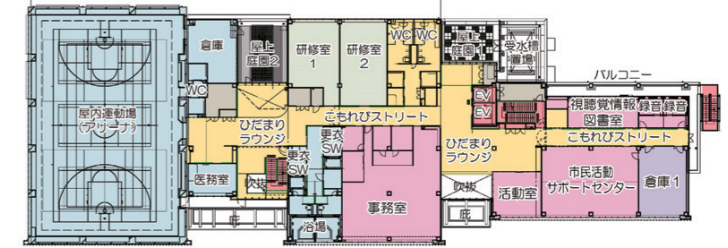
環境配慮事項とねらい

立地特性を活かした計画と明快なボリューム構成により、地域に溶け込む外観デザイン

- ・機能に合わせて分節化したボリューム構成によってリズムと調和を生み出すデザイン
- ・近隣への圧迫感を低減するため、離隔距離を十分に確保し、3層に抑えた計画
- ・利用者空間を3つのボリュームに集約し、それらを「こもれびストリート」
- ・「ひだまりラウンジ」でつなぐ明快な構成
- ・1階部分の連続ピロティにより直射日光や雨風を防ぐ歩行者空間
- ・敷地内の空地率を約83%確保し、駅前中心市街地の温熱環境緩和に寄与
- ・既存地盤レベルを考慮した造成計画による場外搬出土の抑制



街並みに合わせたスケールの施設構成



平面計画図 (2階)

豊かな自然光を取り入れ、居住性を高めた「ひだまりラウンジ」「こもれびストリート」

- ・アルミ複合カーテンウォールを採用した吹抜け空間の「ひだまりラウンジ」により、自然光を最大限に取り込んだ豊かな空間
- ・オープンな居室が「こもれびストリート」に対して開かれ、利用者の賑わいや自然光の明るさがあふれる空間
- ・アルミ複合カーテンウォールを採用し、あたたかみのある居住空間を実現



自然光最大限に取り込んだこもれびストリート

木のあたたかみがあるラウンジ

屋内外をつなぐ全面開放サッシ

- ・保育室や訓練室等、1階の居住性が高い居室には全面開放サッシを採用
- ・保育室や遊戯室は園庭に面しており、全開放により、屋内外一体の自然通風を取り込んだ居住空間を実現
- ・ピロティ車寄せに面した訓練室は、災害時には全開放により、物資の供給スペースや一時退避スペースとしての機能転用が可能



全面開放による屋内外一体空間

複合断熱金属サイディングウォール

- ・耐久性、遮熱性を向上させた次世代ガルバリウム鋼板と、耐火性（認定取得）と断熱性（熱伝導率 0.02）に優れたフェノール樹脂製断熱材を組み合わせた高性能金属外壁
- ・高断熱性による居住性の向上と、金属外壁による象徴的な意匠を両立
- ・ノンフロン、リサイクル可、グリーン購入法適合断熱材による環境配慮



意匠・断熱性に優れた金属外壁

自然採光と自然通風を確保した屋内運動場

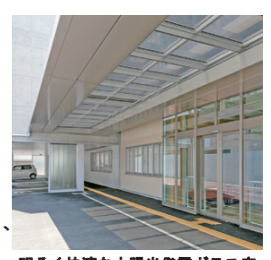
- ・屋内運動場上部にハイサイドライト、下部に横連窓を設けることで、自然換気を主体とした快適な空間を実現
- ・ハイサイド部分には遮熱性能の高い塗料でコーティングを施した電動ブラインドを設置し、屋内への日射熱量を低減
- ・横連窓には深い懐を確保し、直射日光を抑えながら、自然採光を確保



自然光が差し込む屋内運動場

建材一体型シーソー太陽光発電パネル

- ・太陽光発電パネルの単独設置ではなく建材一体型とすることで単なる設備投資に留まらない付加価値を創出
- ・来館者の目に触れるエントランス庇に組み込み、環境技術の啓発に寄与
- ・アモルファスシリコン薄膜多結晶タンデム構造の太陽電池搭載ガラスを採用し、日射熱を抑え（透過率 8%）、可視光を透過させた快適空間を実現



明るく快適な太陽光発電ガラス庇